LIXIL
SHINNIKKEI

施工説明書番号 ME-1894
改－6

ナビアスタイル機能門柱 type-C 施工説明書

●この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。　商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●電気工事は電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合は、必ず電気工事店へ依頼してください。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項　　施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

●ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。
●施工場所に正しく納まるか確認してください。（寸法・配線・配管等）特にポストはポールから突出しますので、設置上危険のない位置へ設置してください。

◎施工時の注意事項

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
●基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
●基礎施工は基準通りに行ってください。また、現場の状況（軟弱地盤など）に応じて基礎の大きさを考慮してください。
●地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
●寒冷地ではポールを立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れてからポールを立てると、ポール内部に水が入り凍結破損の原因になります。
●電装商品の場合は、配線工事を必ず電気工事店様（有資格者）に依頼してください。
●ポール内部・家側からの配管は、PF 管呼び 16 を使用してください。
●照明とインターホンをどちらも取付ける場合は、隔壁となる配管を設けてください。
●電装商品の配線はあらかじめ 2m 位立ち上げておいてください。
●インターホン・配線・信号線・PF 管等は、現場手配品となります。また、インターホンは子機と親機は同一メーカー品を使用してください。（子機は JIS1 個用スイッチボックス対応品）
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意
●本体を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
●ポストの上には乗らないでください。
●ポストの投函口にむやみに手や棒を差し込まないでください。
●投函物を取り出す場合は、手や指に注意してください。
●年に一回、ネジやボルトの緩みがないか、確認してください。

もくじ

梱包明細 …… 2
各部の名称 …… 3
納まり図 …… 4
1．ポールの設置 …… 5
2．インターホンの取付け …… 6
　2－1 面付けパネルの孔加工 …… 6
　2－2 露出タイプの取付け …… 6
　2－3 内蔵タイプの取付け …… 7
　2－4 インターホン背面板の取付け …… 8
3．ポストの取付け …… 8
4．表札の取付け …… 9
　4－1 表札（小）の取付け（※照明付きの場合） …… 9
　4－2 表札（大）の取付け（※照明無しの場合） …… 9
5．照明の取付け …… 11
　5－1 照明の取付け …… 11
　5－2 照明を取付けない場合 …… 11
6．捨てビスの取付け（※独立納まりの場合） …… 12
7．門扉の吊り込み（※門扉付き納まりの場合） …… 13
　7－1 吊元部材の取付け …… 13
　7－2 ヒンジセットの取付け …… 14
　7－3 サブ門柱の設置 …… 15
　7－4 門扉の吊り込み …… 16
施工工事店様、販売店様へのお願い …… 16

梱包明細

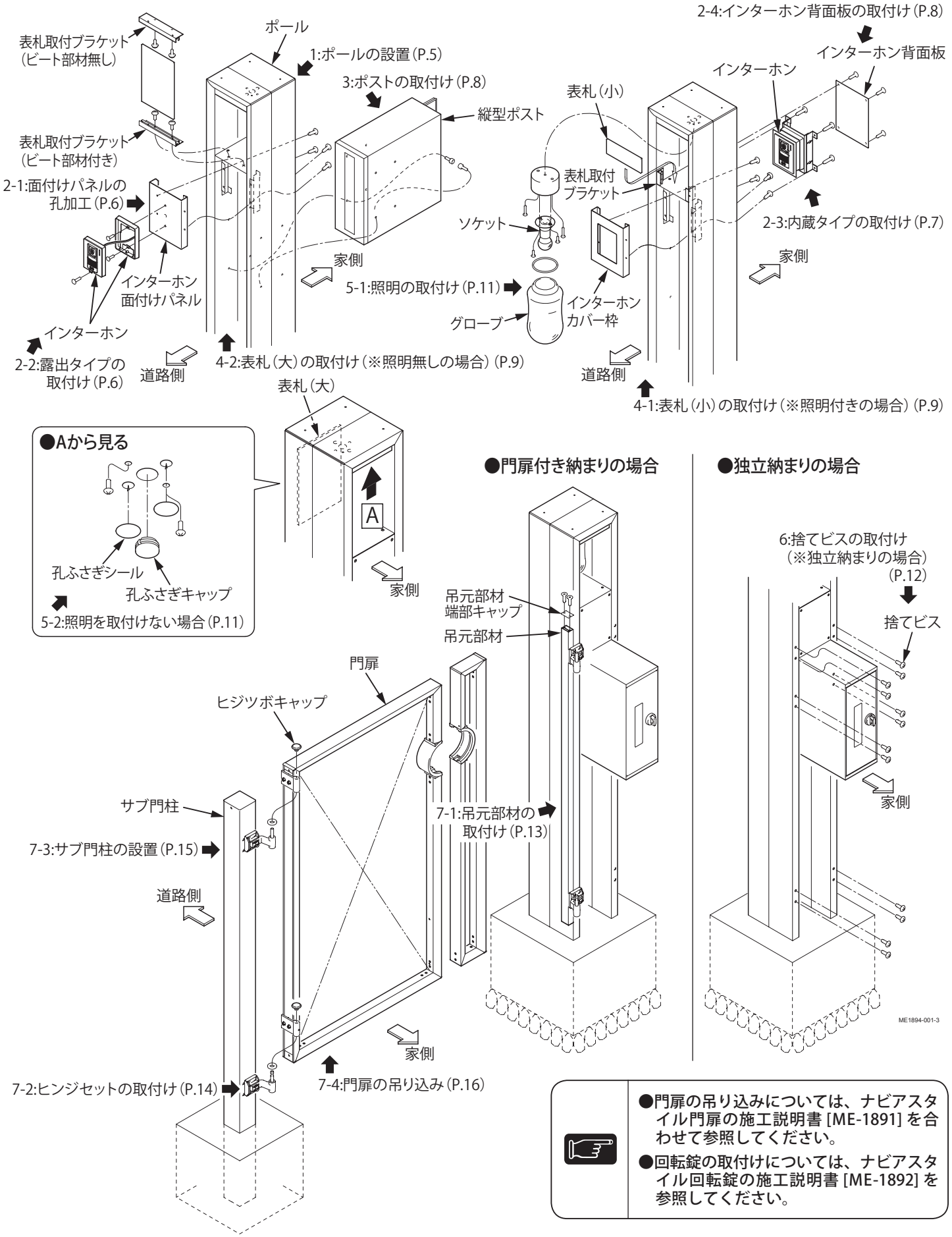
●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品 (ビス含) 以外は使用しないでください。

梱包名称		梱包内容　　表内の（ ）は個数を表しています。	
ポール本体		ポール本体（1）・インターホン背面板（1）・φ 4 × 15 皿タッピン 3 種（4）・M4 六角穴付ボルト（8） M4 用六角レンチ（1）・φ 5 × 10 トラスタッピン 3 種（12）・施工説明書 [ME-1894]（1）	
照明セット		照明（1）・φ 4 × 20 トラス小ネジ（2）	
表札セット（照明付き）		表札小（1）・表札ブラケット（2）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（4）・φ 4 × 8 トラスタッピン 3 種（4） ネームシール（1）	
表札セット（照明無し）		表札大（1）・表札ブラケット（2）・表札外れ止め金具（1） φ 4 × 13 セルフドリリングビス（ゴムワッシャー付）（4）・φ 4 × 8 トラスタッピン 3 種（4） 孔ふさぎシール（2）・孔ふさぎキャップ（1）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（2） ネームシール（1）・孔ふさぎシール（2）	
インターホンパネル露出型		インターホン面付けパネル（1）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（4）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（2）	
インターホンカバー枠		インターホンカバー枠（1）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（4） インターホン台座（1）・インターホン調整アングル（1） φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（6）・φ 4 × 20 トラスタッピン 3 種（4）	
吊元部材	H10	吊元部材（1）・吊元部材カバー（1）	吊元部材端部キャップ（2）・φ 4 × 15 皿タッピン 2 種（4） φ 4 × 25 セルフドリリングビス（2）
	H12	吊元部材（1）・吊元部材カバー（1）	
飾りサブ門柱	H10	飾りサブ門柱（1）	
	H12	飾りサブ門柱（1）	
サブ門柱	H10	75 角門柱（1）	
	H12	75 角門柱（1）	
ヒンジセット		ヒンジ [上 / 下]（2）・ヒンジカバー（2）ヒジツボキャップ（2）・ナイロンワッシャー（2） M5 × 16 トラス小ネジ（バネ座金付）（8）・M3 × 6 皿小ネジ（4）・施工説明書 [ME-1891]（1）	

内蔵タイプのインターホンを取付ける場合は、別売品の「インターホンカバー」を手配してください。
※内蔵タイプのインターホンの取付けについては、「インターホンカバー」の施工説明書 [ME-2125] を合わせて参照してください。

各部の名称

●組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作業前に確認してください。
※（　）内は説明ページを示しています。



●門扉の吊り込みについては、ナビアスタイル門扉の施工説明書 [ME-1891] を合わせて参照してください。

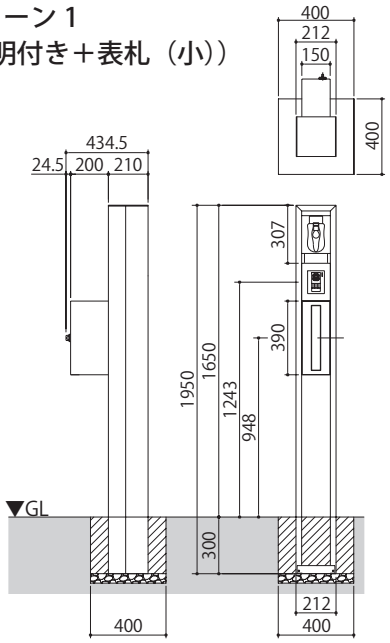
●回転錠の取付けについては、ナビアスタイル回転錠の施工説明書 [ME-1892] を参照してください。

納まり図

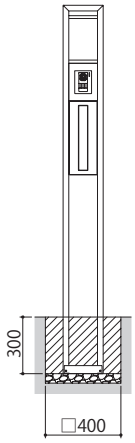
●下記は一例です。他の組合せも可能です。各営業所にお問い合わせください。

独立納まり

●パターン 1
（照明付き＋表札（小））



●パターン 2
（照明無し＋表札（大））



ME1894-002-3

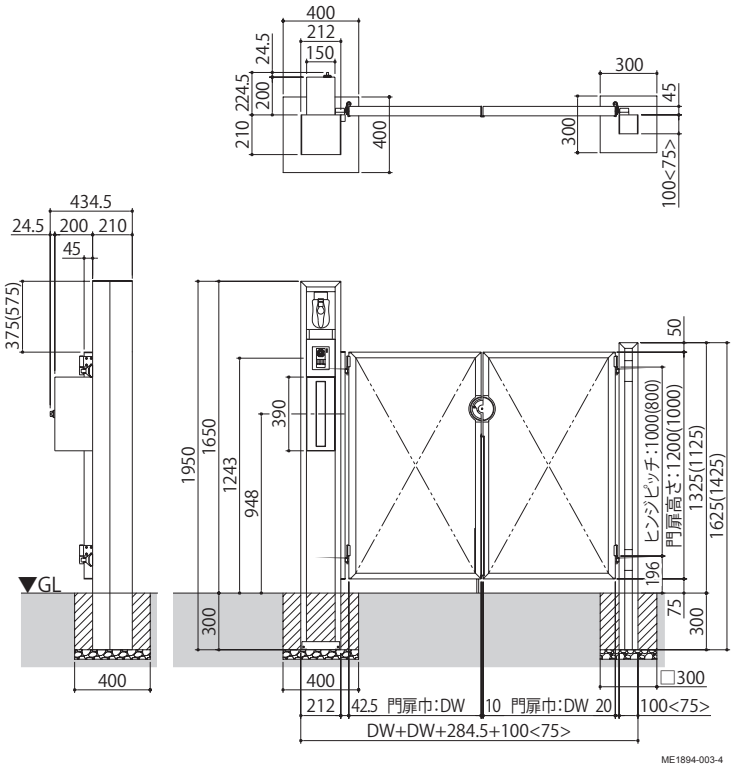
●門扉寸法一覧表 (mm)

呼称サイズ	DW
DH1000	400
	600
	700
	800
DH1200	400
	600
	700
	800

門扉付き納まり

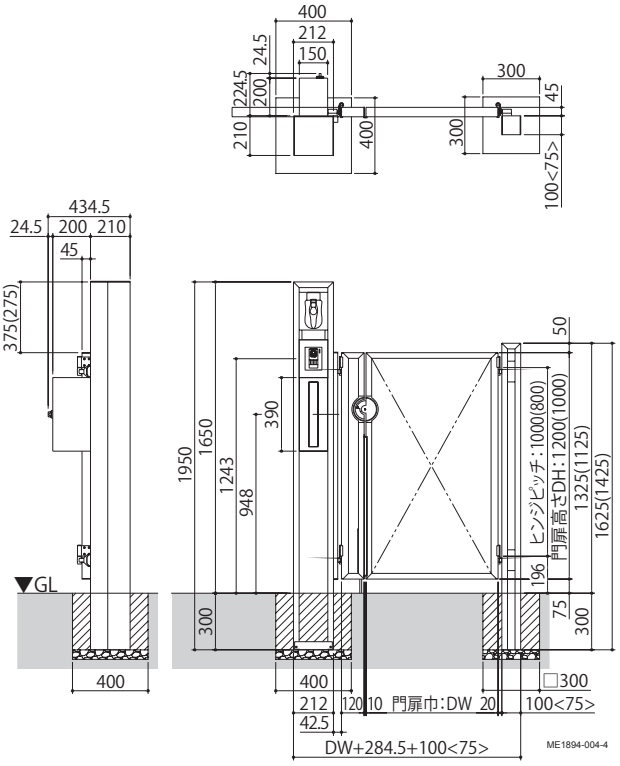
※本図は、パターン 1（照明付き + 表札（小））・飾りサブ門柱の場合を示しています。
※（ ）内寸法は、DH1000 の場合を示しています。
※＜ ＞内寸法は、サブ門柱納まりの場合を示しています。

●両開き・サブ門柱 / 飾りサブ門柱



ME1894-003-4

●片開き・サブ門柱 / 飾りサブ門柱



ME1894-004-4

1 ポールの設置

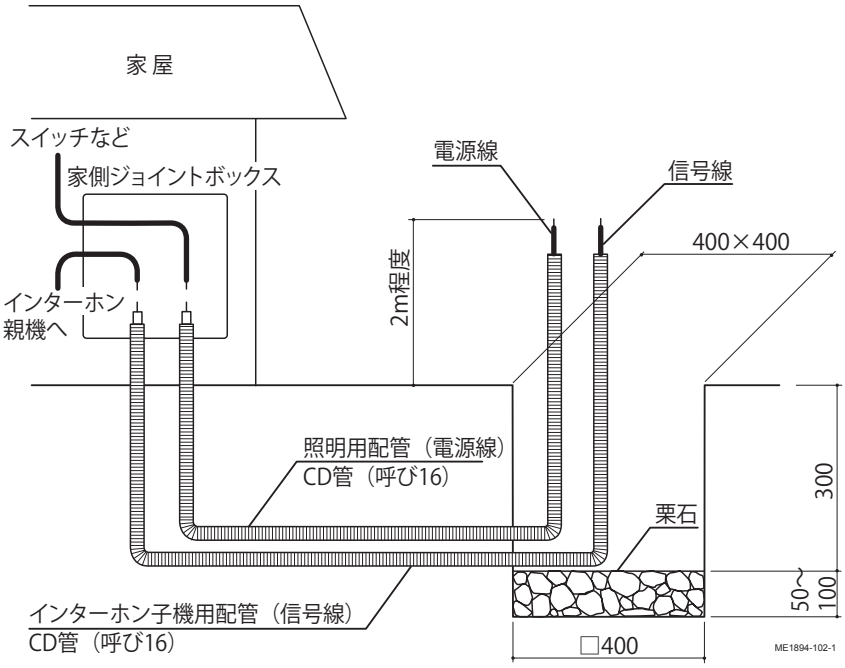
①取付場所に基礎穴を掘り、栗石を敷いてください。
②基礎穴まで、インターホン用・照明用配管を埋設してください。

ポール本体には、出荷時に CD 管が入っています。配管埋設時には注意してください。
・外観左側 - インターホン用
・外観右側 - 照明用

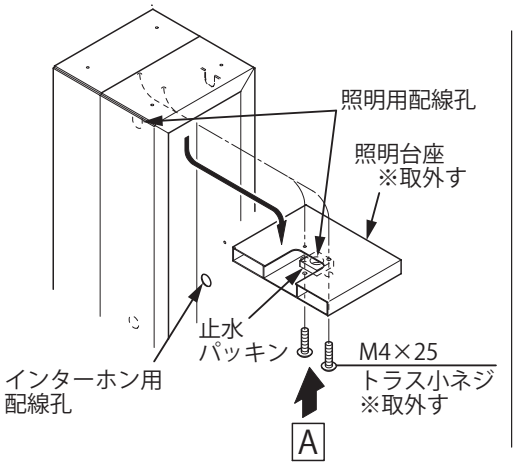
③パイロットコードを使用して、インターホン用・照明用の配線をポール内に通してください。

ポール本体に入っている CD 管は、絶対に抜かないでください。
※ CD 管を抜くと、再びポール本体に入れることができません。

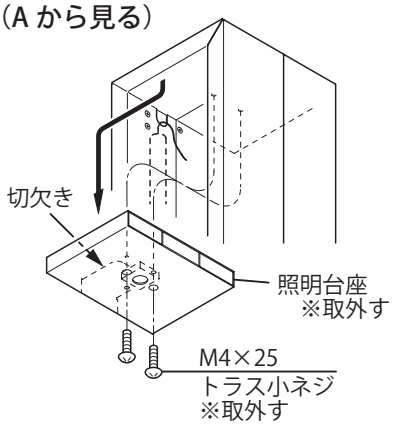
●照明用配線が硬く、通しにくい場合は、照明台座をいったん取外してください。
●照明用台座の止水パッキンを外さないでください。
●配線を通したら、再度照明台座を取付けてください。
※照明用台座には、左右の向きがあります。上面に切欠きのある方が配線側です。

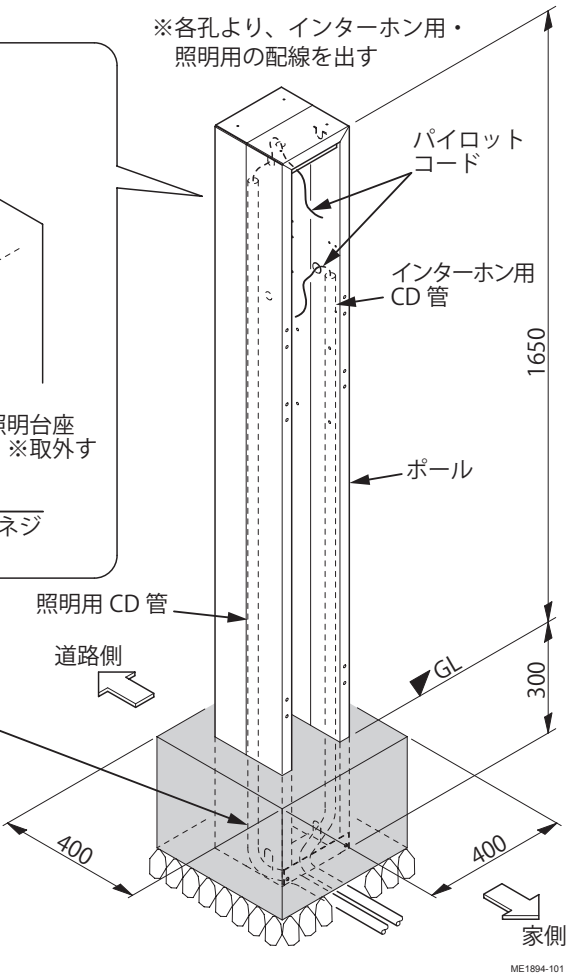


●照明用配線を通しにくい場合 ※照明用台座をいったん取外す



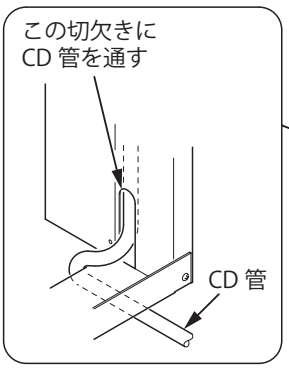
（A から見る）





④埋め込み深さ・高さ・垂直水平を調整し、コンクリートを流してポールを固定してください。

●コンクリートが固まるまで、添え木等で動かないようにしてください。
●ポールや配管内に水が入らないようにしてください。



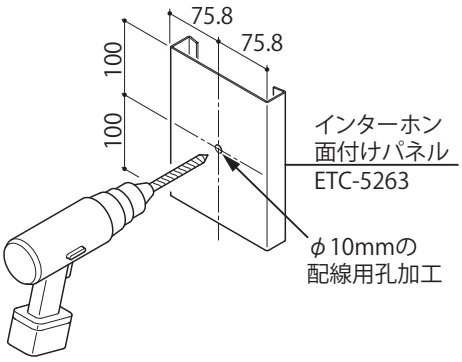
2 インターホンの取付け

●インターホンに付属の説明書を合わせて参照してください。

内蔵タイプのインターホンを取付ける場合は、別売品の「インターホンカバー」を手配してください。
※内蔵タイプのインターホンの取付けについては、「インターホンカバー」の施工説明書 [ME-2125] を合わせて参照してください。

2－1 面付けパネルの孔加工

①インターホン面付けパネルに配線用の孔加工を行ってください。



ME1894-201

2－2 露出タイプの取付け

露出タイプの場合に行ってください。
※内蔵タイプの場合は「2-3」を参照してください。

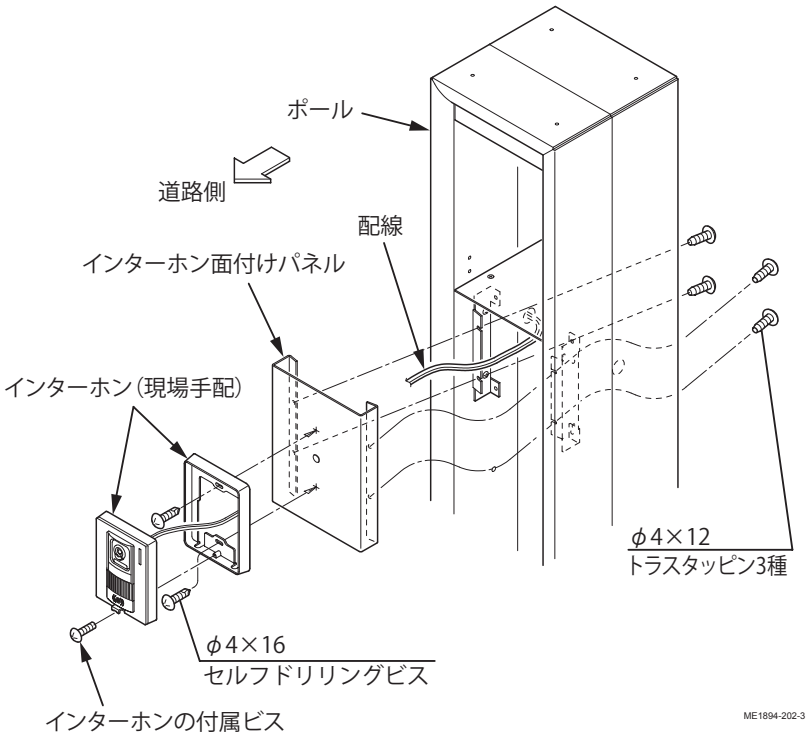
照明用の電源線と間違えないようにしてください。

①インターホン面付けパネルを取付けてください。

②インターホン子機（現場手配）を結線し、ポールに取付けてください。

余りの信号線は、ポール内に押し込んでください。

結線は、電気工事店様（有資格者）が行ってください。

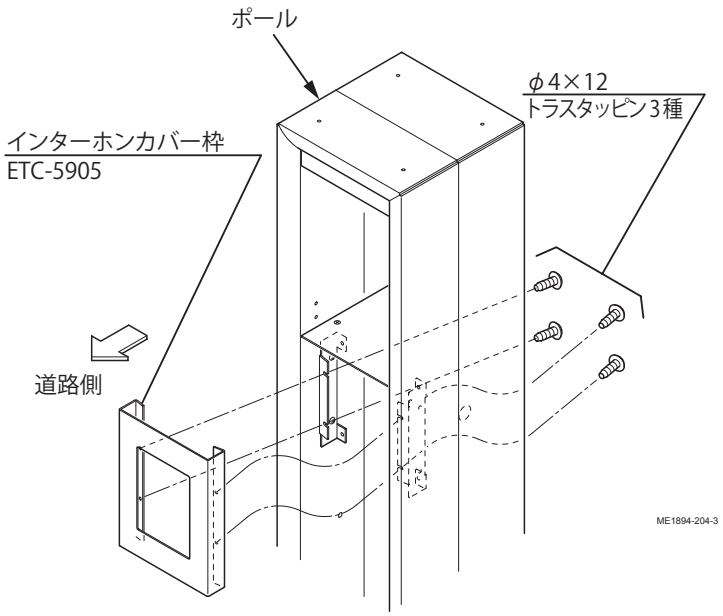


ME1894-202-3

2－3 内蔵タイプの取付け

内蔵タイプの場合に行ってください。
※露出タイプの場合は「2-2」を参照してください。

①インターホンカバー枠をポールに取付けてください。



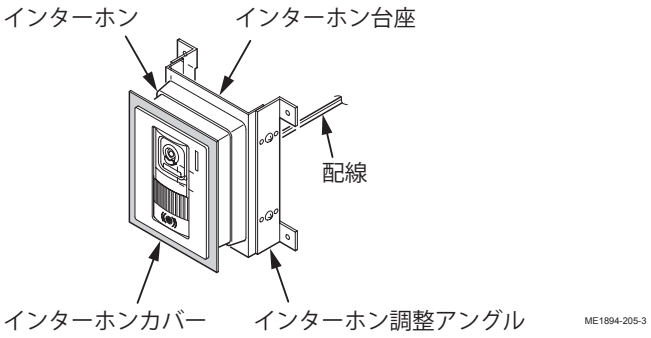
②「インターホンカバー」の施工説明書 [ME-2125] を参照して、インターホンを結線し、インターホンカバーをインターホンに取付けてください。

参照説明書
・インターホンカバー [ME-2125]

余りの信号線は、ポール内に押し込んでください。

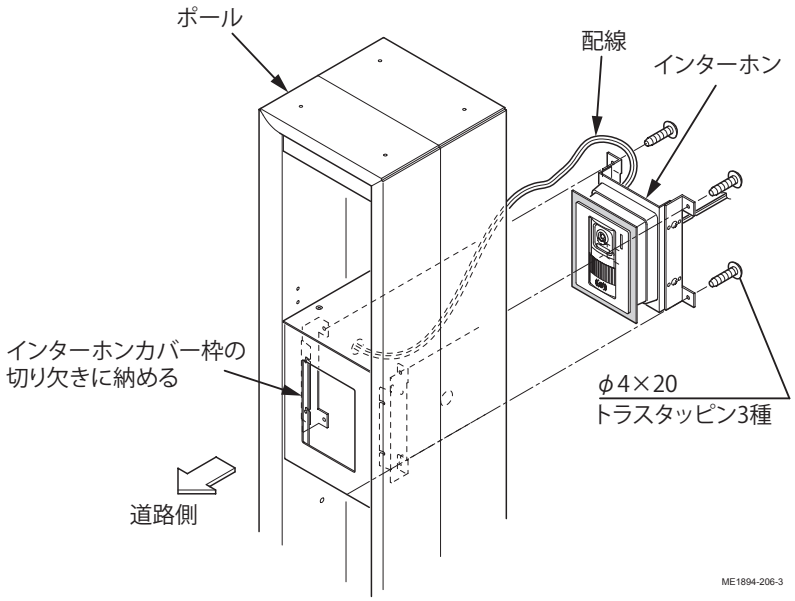
結線は電気工事店様（有資格者）が行ってください。

※[ME-2125] を参照して組立てる



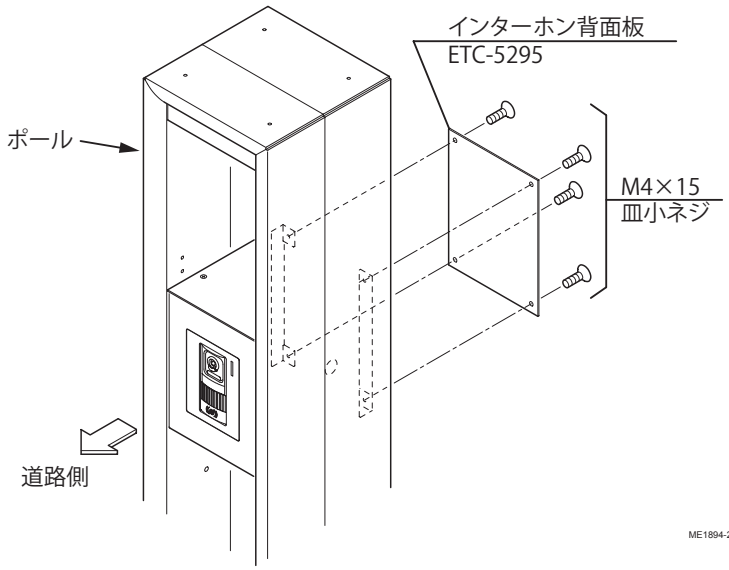
③インターホンをポールに取付けてください。

φ 4 × 20 トラスタッピン 3 種を確実に締付けてください。
※インターホンカバーをインターホンカバー枠の切り欠きに納めてください。



2－4 インターホン背面板の取付け

①インターホン背面板をポールに取付けてください。



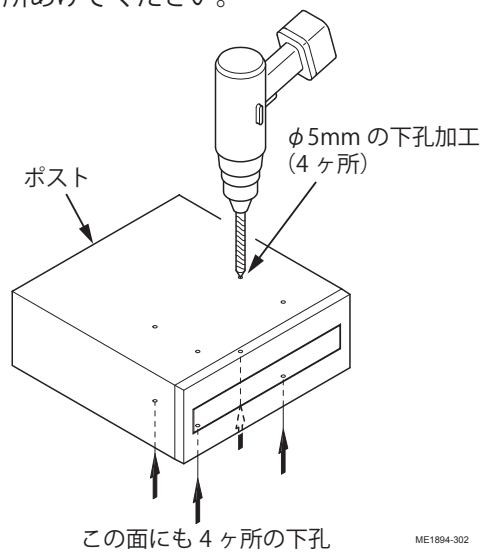
3 ポストの取付け

●ポスト本体の施工説明書を合わせて参照してください。

⚠注意

ポストは開閉により振動します。ビスを確実に締付けてください。

①ポストのポンチ位置に、φ 5mm の孔を計 8 ヶ所あけてください。

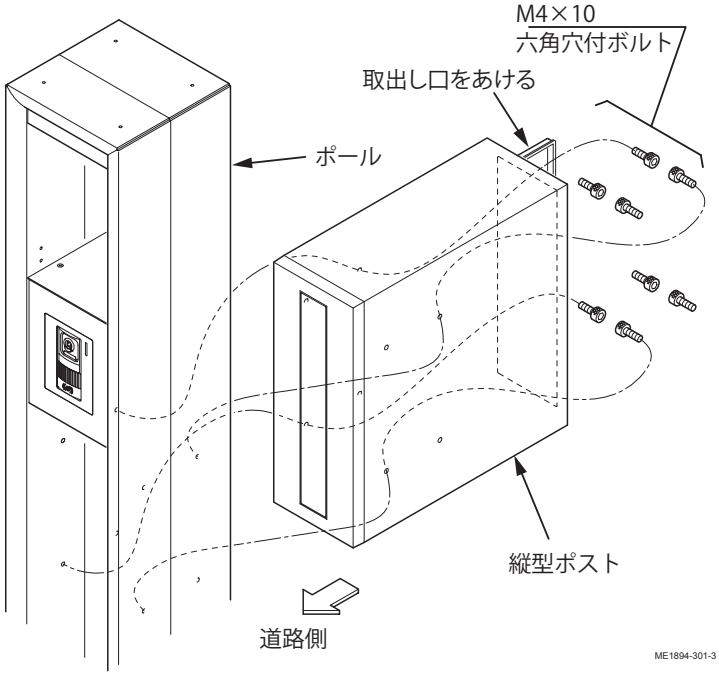


②ポストの取出し口をあけてください。

③ポストをポールに取付けてください。

④六角穴付ボルトを使用して、ポスト内側よりポストを取付けてください。

ポストの取付けには、ポールに付属の六角レンチを使用してください。



4 表札の取付け

4－1 表札（小）の取付け（※照明付きの場合）

照明付きの場合に行ってください。
※照明無しの場合は「4-2」を参照してください。

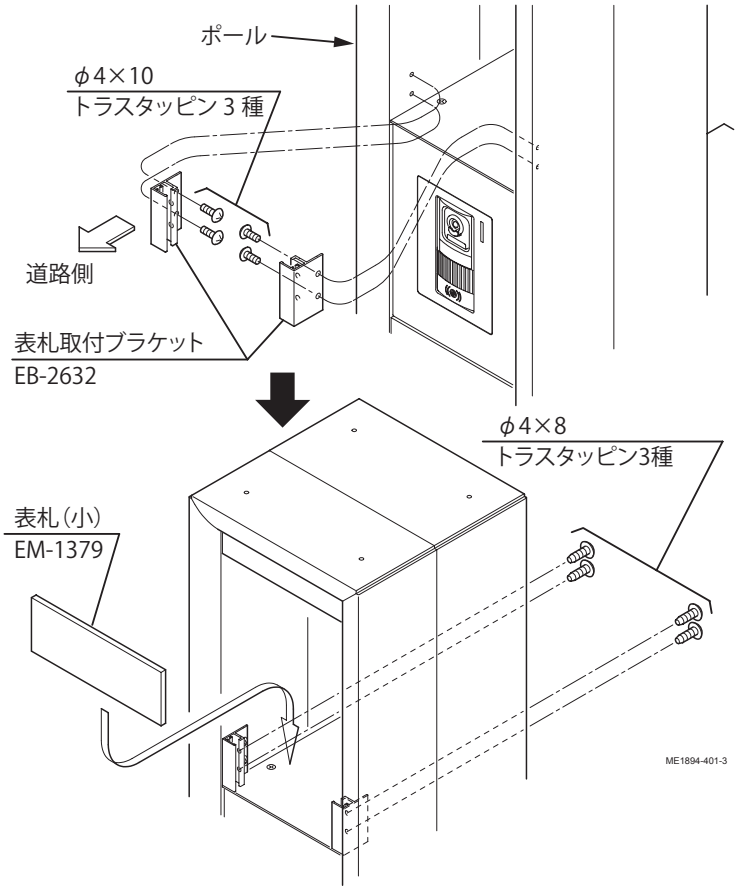
①表札取付ブラケットをポールに取付けてください。

表札取付ブラケットの取付けには、短いドライバーを使用してください。

②表札（小）をブラケットの溝にスライドさせてはめ込んでください。

③表札裏面よりビスで押し止めしてください。

④表札にネームシールを貼付けてください。

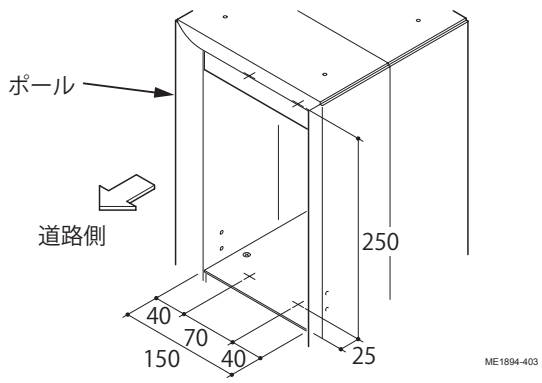


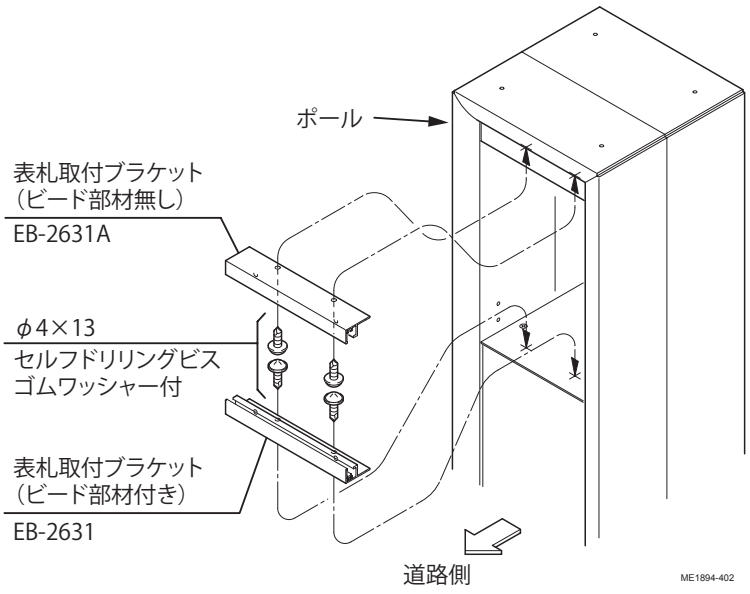
4－2 表札（大）の取付け（※照明無しの場合）

照明無しの場合に行ってください。
※照明付きの場合は「4-1」を参照してください。

①表札取付ブラケット（ビード部材なし）を照明台座に取付けてください。（上側）

②表札取付ブラケット（ビード部材付き）をインターホン天面板に取付けてください。（下側）

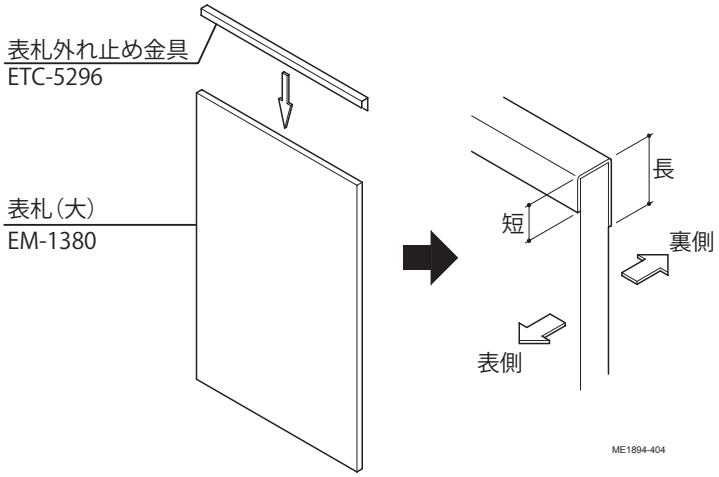




表札の取付け

③表札（大）の上側に表札外れ止め金具を取付てください。

表札外れ止め金具を右図の向きで取付けてください。
※部品の長・短で向きを区別してください。

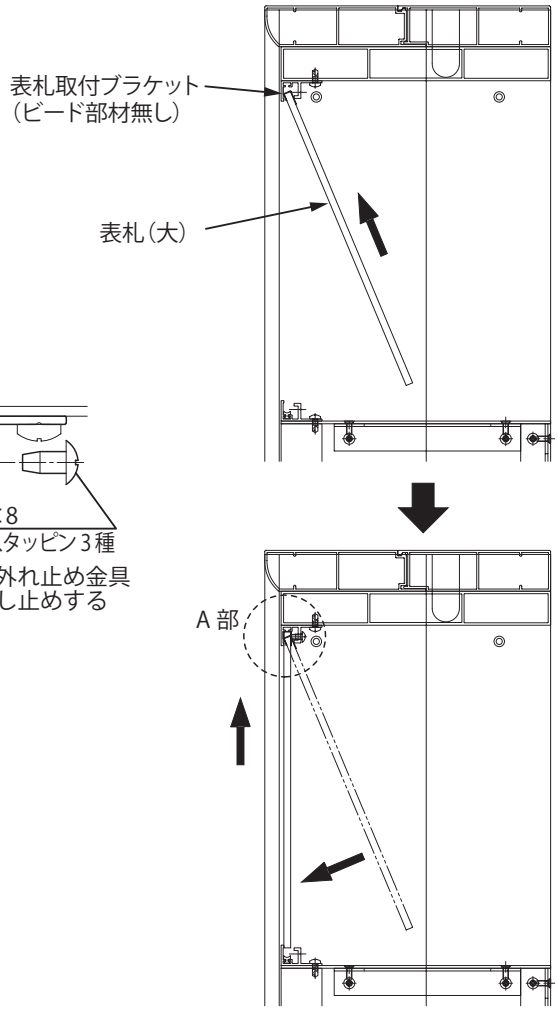


④表札（大）を上側の取付ブラケットに差し込んでください。

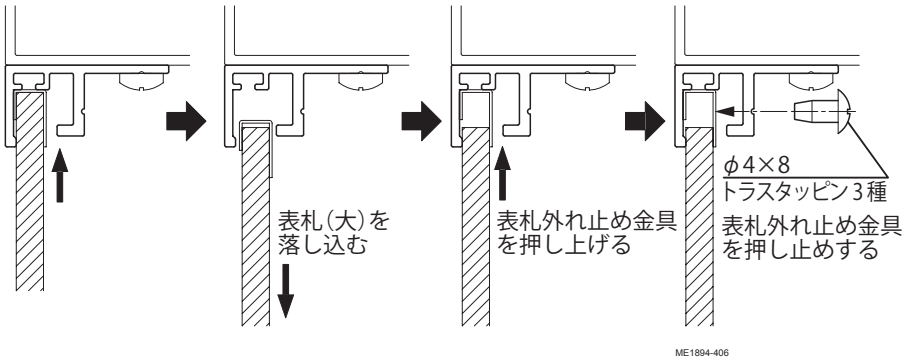
⑤表札（大）を下側の取付ブラケットの溝に落し込んでください。

⑥表札外れ止め金具を押し上げてください。

⑦表札外れ止め金具をビスで押し止めしてください。



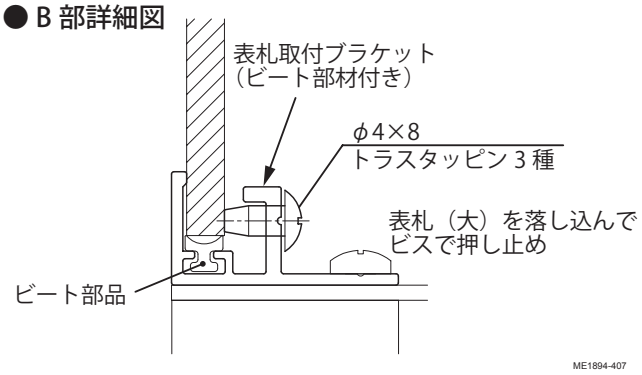
● A 部詳細図



⑧表札(大)の下側をビスで押し止めしてください。

ビスを強く締め過ぎないでください。
※強く締め過ぎると、表札が割れるなど破損の原因となる場合があります。

● B 部詳細図



⑨表札にネームシールを貼付けてください。

5 照明の取付け

●照明本体の施工説明書を合わせて参照してください。

5－1 照明の取付け

①パイロットコードを利用して、ポールの配線用孔より照明用の配線を通してください。

インターホン用の信号線と間違えないようにしてください。

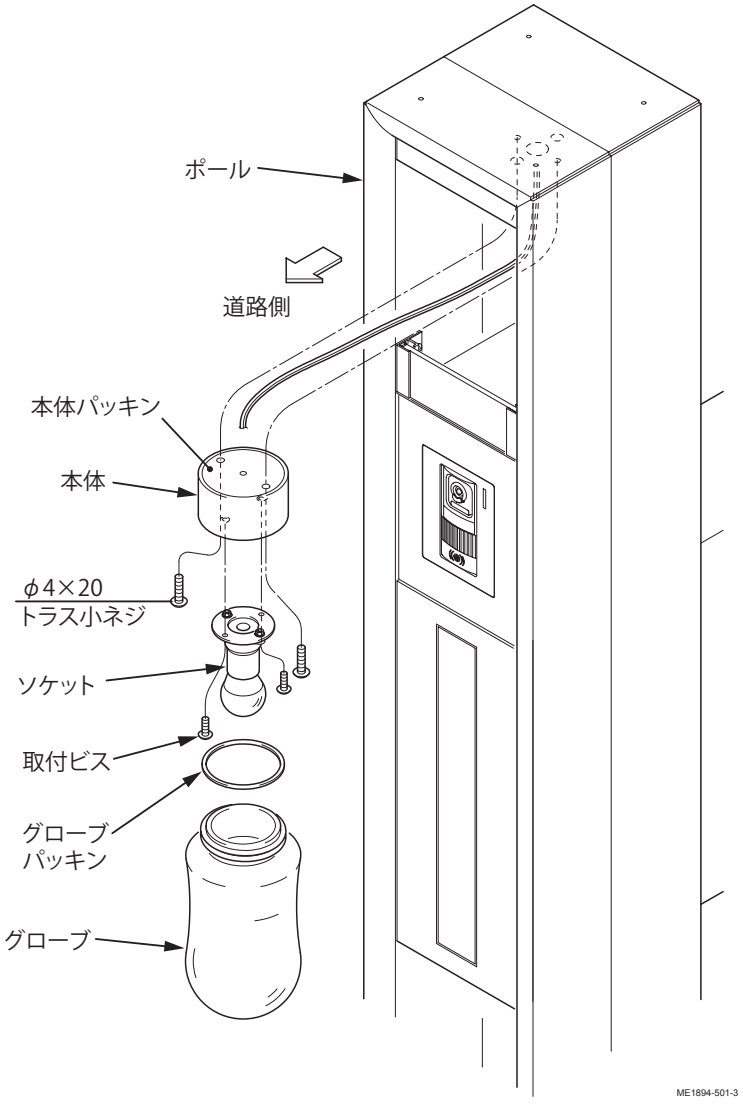
●照明用配線が硬く、通しにくい場合は、照明台座をいったん取外してください。

●照明用台座の止水パッキンを外さないでください。

●配線を通したら、再度照明台座を取付けてください。

※照明用台座には、左右の向きがあります。上面に切欠きのある方が配線側です。

※照明用台座の取外し方は、「1. ポールの設置」（5 ページ）の「手順③」を参照してください。



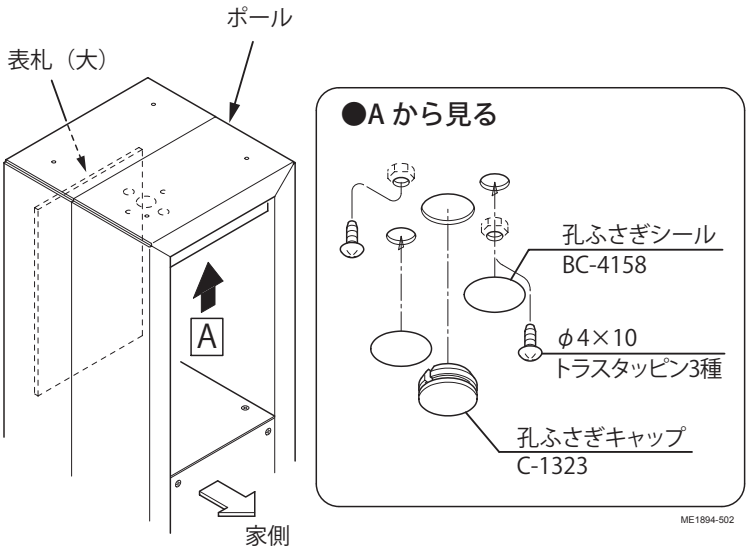
②図を参照して照明をポールに取付け、結線してください。

余りの電源線は、ポール内に押し込んでください。

結線は、電気工事店様（有資格者）が行ってください。

5－2 照明を取付けない場合

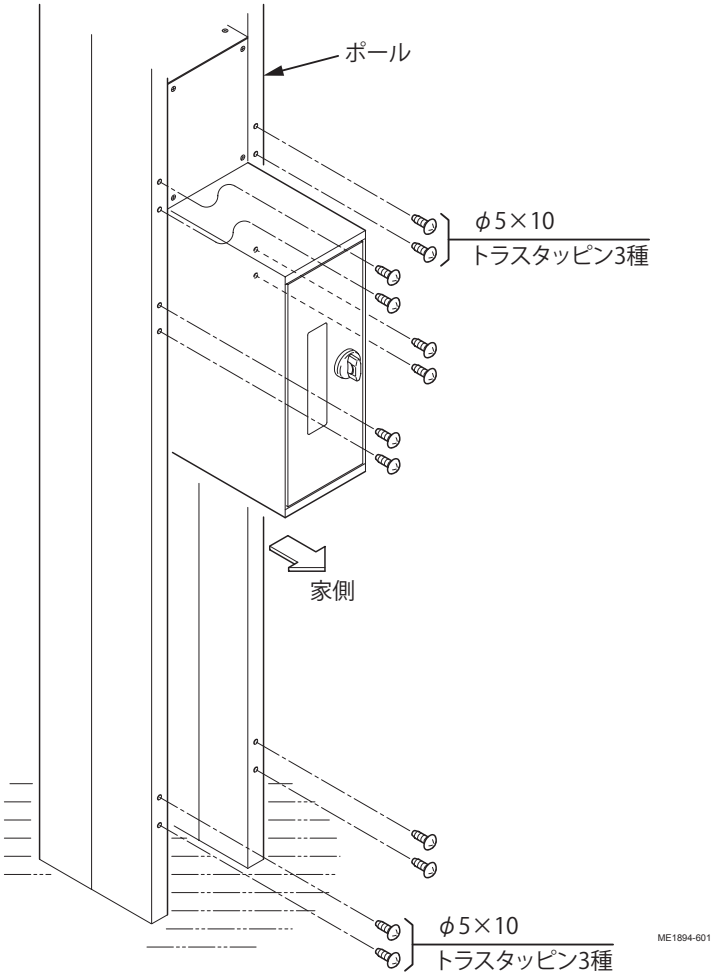
①ポールの使用しない孔に、孔ふさぎシール、孔ふさぎキャップ、およびトラスタッピン 3 種を取付けてください。



6 捨てビスの取付け
（※独立納まりの場合）

独立納まりの場合に行ってください。
※門扉付き納まりの場合は「7. 門扉の吊り込み」を行ってください。

①ポールに捨てビスを取付けてください。



7 門扉の吊り込み
（※門扉付き納まりの場合）

●ナビアスタイル形材門扉の施工説明書 [ME-1891] を合わせて参照してください。

門扉付き納まりの場合に行ってください。

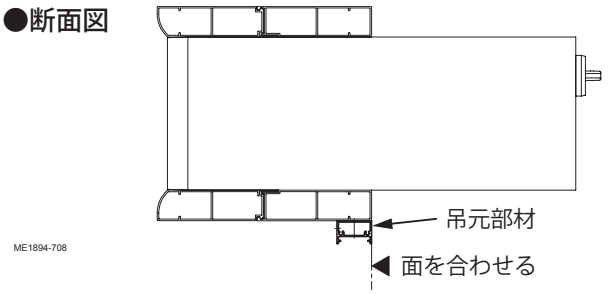
7－1 吊元部材の取付け

①吊元部材の下部に、吊元部材端部キャップを取付けてください。

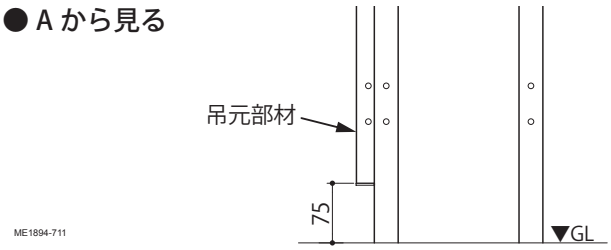
②ポールの扉側に吊元部材を取付けてください。

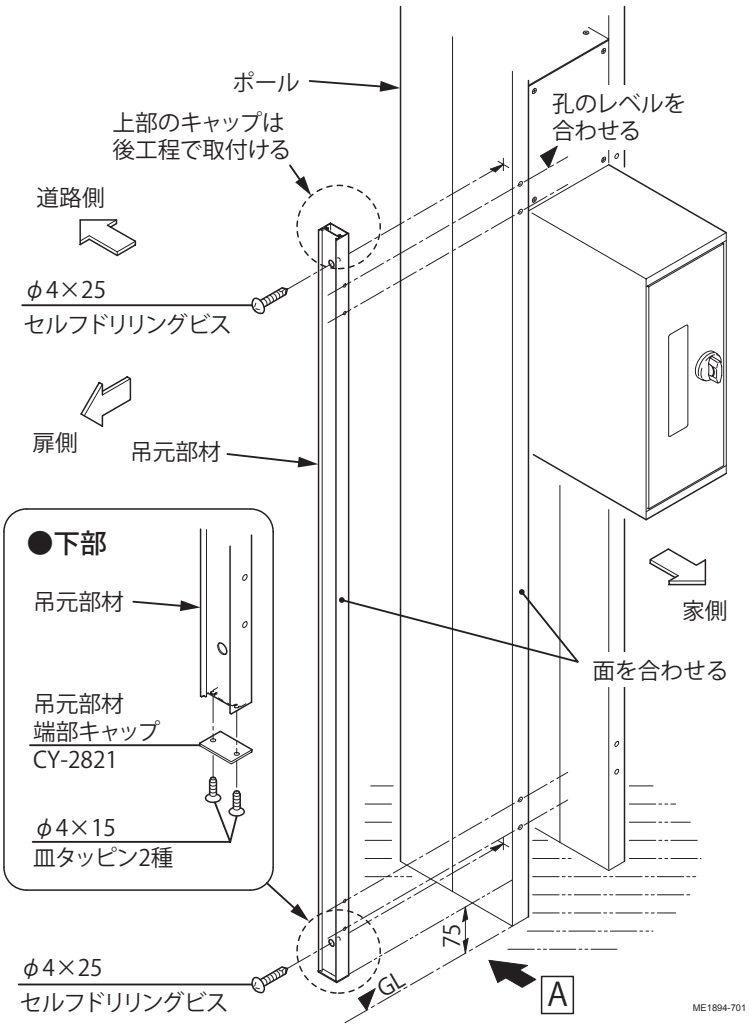
吊元部材とポールの、面と孔のレベルが合っていることを確認してください。
※位置が合っていない場合、ヒンジが取付けられないことがあります。

●断面図

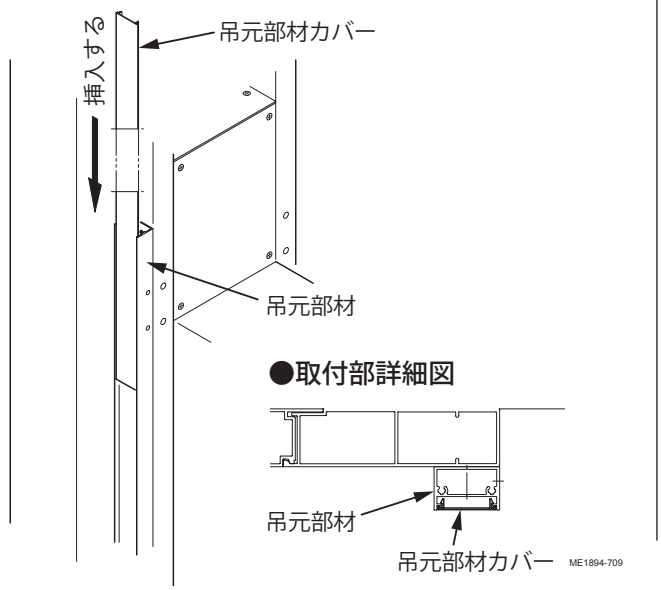


● A から見る

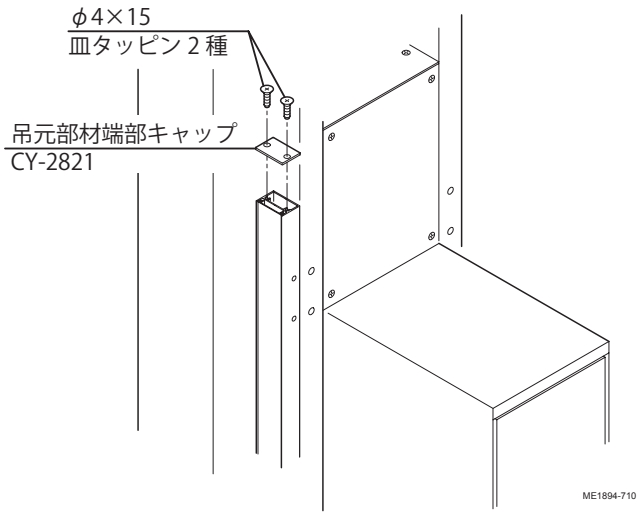




③吊元部材に吊元部材カバーをスライドさせて挿入してください。



④吊元部材の上部に、吊元部材端部キャップを取付けてください。



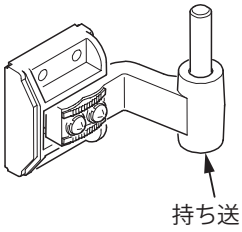
7－2 ヒンジセットの取付け

施工前に、扉の開き勝手とヒンジの取付向きを確認してください。
※詳細については、ナビアスタイル形材門扉の施工説明書 [ME-1891] を参照してください。

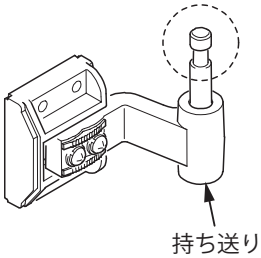
①図を参照して、ポールにヒンジセットを取付けてください。

ヒンジには上部用と下部用があります。上下を確認して取付けてください。

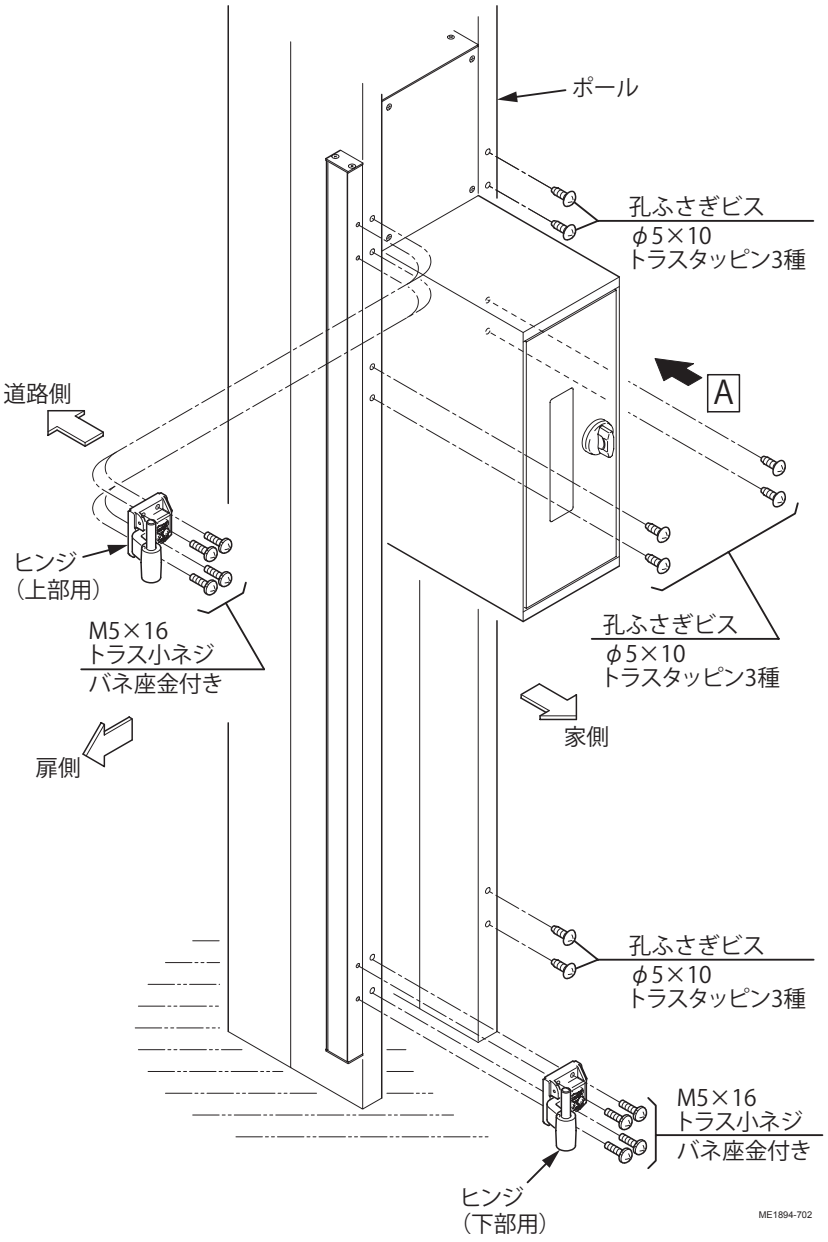
●上部用



●下部用

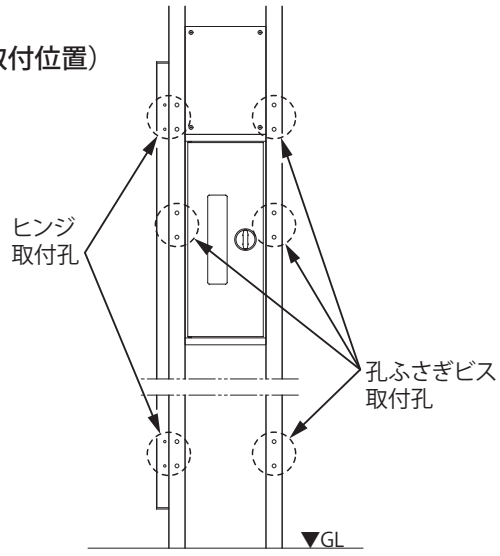


ME1891-104

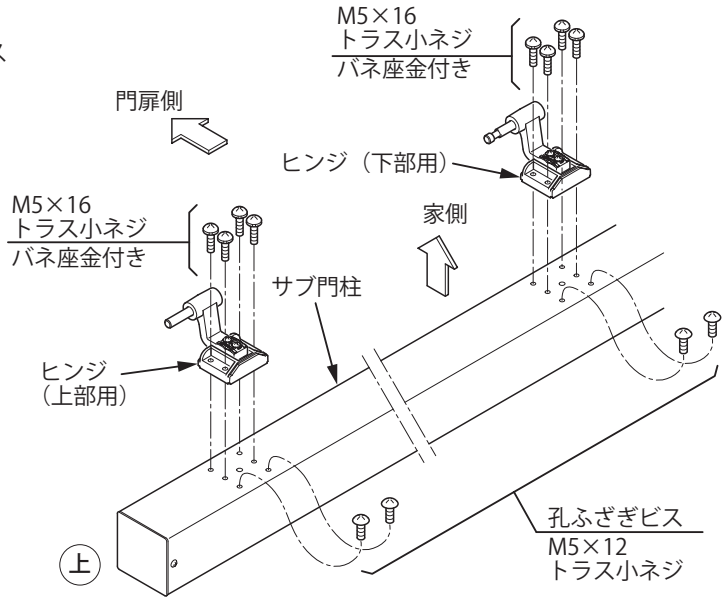


ME1894-702

● A から見る
（孔ふさぎビス取付位置）



ME1894-712



ME1894-706

②サブ門柱にも同様にヒンジセットを取付けてください。

③使用しない取付孔に、孔ふさぎビスを取付けてください。

サブ門柱に飾りサブ門柱を使用する場合は、ナビアスタイル門扉の施工説明書 [ME-1891] を参照してください。

7－3 サブ門柱の設置

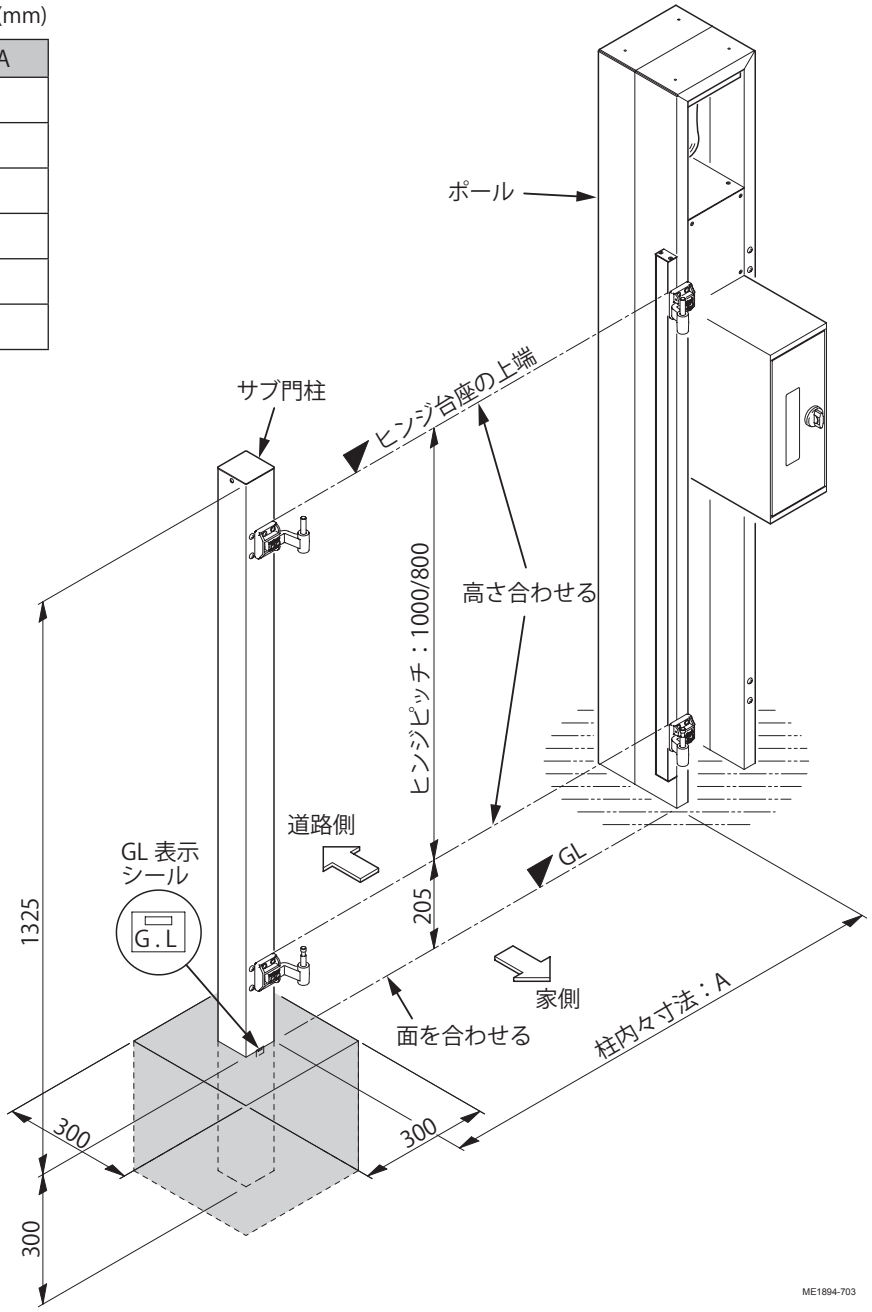
①図を参照して、サブ門柱を埋め込んでください。

地下埋沈物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

柱の位置とレベルを正確に合わせてください。
※門扉が吊り込めなかったり、施錠不良の原因となります。

● A 寸法表 (mm)

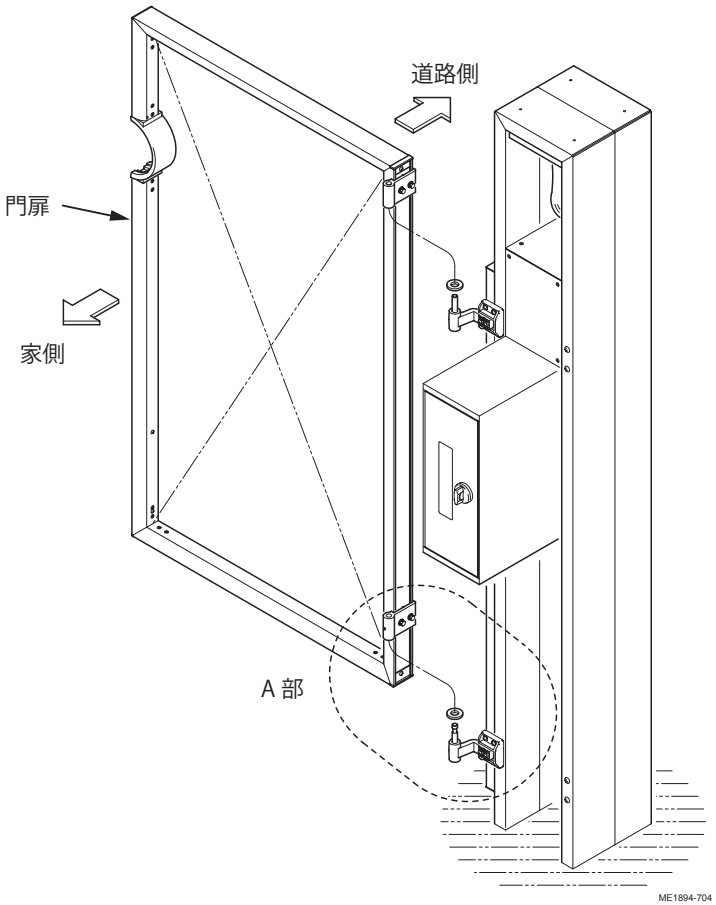
門扉納まり	扉の組合せ	柱内々寸法：A
片開き	DW120+600	792.5
	DW120+700	892.5
	DW120+800	992.5
両開き	DW600+600	1272.5
	DW700+700	1472.5
	DW800+800	1672.5

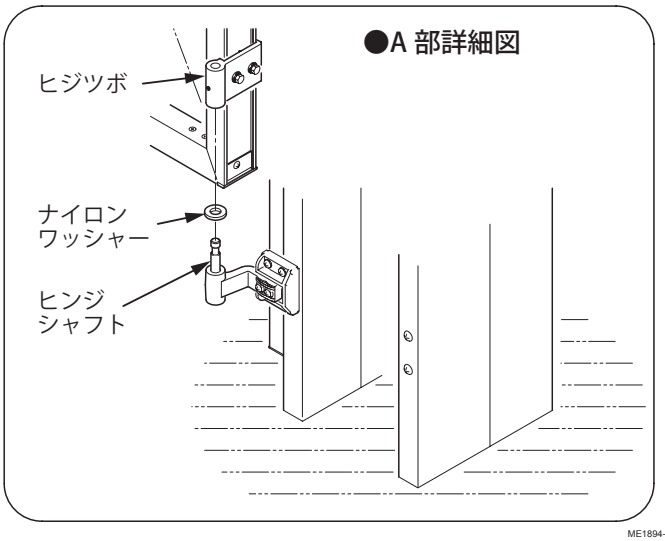


7－4 門扉の吊り込み

門扉吊り込み後の手順と調整方法については、ナビアスタイル門扉の施工説明書 [ME-1891] を参照してください。

① [ME-1891] を参照して、門扉を吊り込んでください。





■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

株式会社LIXIL この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合せください。 お客様相談室 0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ http://www.lixil.co.jp